

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス わくわく		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・敷地内にグラウンドや体育館、プールがあり、活動の幅を広げることができる。	・その日の職員や児童の人数もみながら、体育館やグラウンドに行く機会を作り、子どもたちの活動の幅を広げている。	・子どもたちの運動面での向上や人間関係の育みにつなげていくために、活動内容も職員が考える中で工夫していく。
2	・イベント活動(季節の行事)を大切にしている。	・ハロウィンやクリスマス、節分など、年間を通じて定期的にイベントを行っている。イベントの際のマニュアルの作成をしている。	・職員同士での話し合いの時間をもちながら、過去にしたことも参考にしながら、内容に少し変化を持たせる等、工夫をしている。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員全体での情報の共有が不十分である。	・職員の勤務時間のちがいや兼務をしている職員もいるため、日々の職員同士でのやりとりにとどまっている。 ・支援の振り返りや業務面のことなど、全体で共有するための時間が十分に設定できていない。	・支援会議の際にプラスアルファで全体への周知等の時間を設けていく。 ・日々の業務面の見直しを行う。 ・不在の職員に対するの周知の仕方の再考。
2	・地域とのつながりが薄い。	・法人内でのフェスティバルなど、行事と一緒に参加する機会にとどまっている。	・地域との関わりという点から何ができるのかを職員間で考えていく。
3	・室内の空間が広く、個室が少ない。	・パーティションの利用など、視覚的に刺激を減らせるようにしている。	・課題等に取り組むスペース、遊ぶスペース等、室内の広さをいかして、子どもたちが過ごしやすい療育空間を考えていく。